



大新だより

令和4(2022)年10月3日
和歌山市立大新小学校



大新小学校のなかよし活動

保護者の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

運動場は、気持ちのいい秋風が吹き渡り、子供たちは、鬼ごっこやボール遊びはもちろん、この季節ならではのむしとりや、最近倉庫から出した一輪車など、思い思いの遊びに夢中になり汗を流し元気いっぱいです。

さて、大新小学校では、1年間を通して「なかよし活動」を行っています。全校児童8グループに分かれて、朝の活動やグループでの遊び、縦割り活動などに取組んでいます。今年度は、赤の「モンスターボール」、赤の「カービィ」、青の「ポッチャマ」、青の「ちきゅう」、黄の「ウッドストック」、黄の「ドラミちゃん」、緑の「プランクトン」、緑の「クリーパー」と子供たちでグループに名前を付けました。「異学年活動を通じて、6年生はリーダーとして活動を計画して運営していくこと、上学年は下学年に対して優しさをもって接していくこと、下学年はグループの一員として協働することの大切さを学ぶ」と「一人一人が主体的に学び、他者の立場を理解しながら信頼関係を育み、絆を深める」ことを目標にしています。

9月は、主にチーム対抗ドッチボールトーナメントとなかよし遊びを行いました。

「10月の大縄跳びが楽しみ。」という子供たちの声も聞こえてきます。6月の始めは、跳ぶことのできなかつた1年生もいましたが、中に入るタイミングを教えてもらったり背中を押してもらったりして、少しずつ跳べるようになってきています。各グループでの子供たちの関わりは大変ほほえましく、あたたかさを感じます。その他、「マラソン」や「青少年赤十字活動(清掃などの奉仕活動)」、「お迎え会」、「6年生を送る会」などを行っています。

雨天時は、読書タイムとして、高学年の様子を見ながら低学年も集中して読書を行っています。さらに育誠会でけん玉を購入していただく予定で、けん玉を楽しみながら、集中力やバランス感覚を育み、教え合い、学び合う力も育つことを願い取組みたいと思います。

秋の夜長に、このような日々の学校での出来事をお子様と話し合い、親子の対話を深めてみてはいかがでしょうか。

学校長 山本 恵子



◎新型コロナウイルス感染状況は減少傾向にありますが、引き続き予防対策が重要です。「3密回避」「室内でのマスク着用」「手洗い・消毒」「健康管理」等、ご協力をよろしくお願いいたします。

キッズサポートスクール (2年生・5年生)

8月31日(水)和歌山県警察本部少年課の方によるサポート教室が行われました。身近なテーマから友達の気持ちを考えたり、法律や決まりを守ることの大切さに改めて気付いたりする貴重な時間となりました。



わうくらす(4年生)

9月16日より4回にわたり、和歌山市保健所動物保健班の方による出前授業「わうくらす(Wakayama Animal Welfare CLASSの略)」がありました。子どもたちは、動物をとおして命の大切さや他者とのかかわりを改めて学ぶことができました。



行事省略

※歩いての登下校が気持ちよく感じられる季節となりました。
正門前道路は駐車禁止区域です。